



# 浮羽中学校通信

～ 立志・挑戦・感動 ～

うきは市立浮羽中学校  
第 24 号  
令和3年12月23日発行  
文責 校長 金子 敬尋

## 明日は終業式 ～ 冬休みが始まります ～

いろいろなことがあった2学期もいよいよ明日で終わります。延期に延期を重ね結局保護者無観客で行われた体育発表会、合唱コンクールなしの文化交流会、合唱は学年別で交流会という形で行われました（2年生は3学期実施）。他にも2年生のキャリアモデルとの出会い体験学習や1年生のふれあい教室など、延期や中止になった行事がいくつもありました。PTA活動はほとんど行われていません。本当にコロナに振り回された2学期でした。それでも子ども達、保護者、地域、そしてもちろん学校も負けずに学校生活や日常生活をがんばって過ごすことができました。そんな2学期も明日12月24日（金）が終業式、そして次の日から、子ども達は冬休みを迎えます。

冬休みは、期間は短いですが年末や年始を挟むため、家族や地域で様々なことがあると思います。どうか事故や問題がないようにして楽しい時間を過ごしてもらいたいと思っています。ただ、生活のリズムを大きく崩したり楽しいばかりの生活になったりしないようにしてほしいと思っています。家ではいろいろ忙しくなることも多いです。家の手伝いはぜひ積極的に行ってほしいです。また、冬休みの課題があり、休みが明けるとすぐに課題テストが行われます。学習に計画的に取り組んでもらいたいです。特に3年生、言わずと知れた受験生です。1月には多くの子が入試を経験します。後悔のない冬休みにしてもらいたいです。

保護者の皆様には、子ども達の生活に十分気を付けていただき、子ども達にとって有意義な冬休みとなるようお願いいたします。始業式は来年1月11日（火）となります。どうかその日に元気な子ども達の顔が見たいと思っています。

## 門松を立てていただきました ～ とうちゃんクラブのみなさんです ～



浮羽中学校に今、正門と東門に大きな門松が立っています。保護者の皆様も目にした方は多いと思います。子ども達の登下校を毎日見守ってくれています。これは、12月19日（日）の朝から、浮羽中学校PTAの「とうちゃんクラブ」の皆様が作ってくれたものです。（一部の方は前日に、準備のため竹取り等を行っていただいています。）昔から、毎年お正月には「年神様」



と呼ばれる神様が各家庭へ訪れると言われていています。正月飾りの中でも、門や玄関前に飾る門松は、年神様が家へ尋ね入るにあたっての目印だとされています。あれだけの門松です。年神様は迷うことなく、子ども達の健やかな生活のために浮羽中学校を訪れてくださると思います。

さて、その門松は以前から「とうちゃんクラブ」の活動の一つとして毎年作っていただいています。始業式のあった週の日曜日に片付けまで行っていただいています。

「とうちゃんクラブ」の中には、保護者の方だけでなく、子どもが中学校を卒業して現役のPTA会員ではない方もおられます。いわゆる地域の方です。保護者や地域の皆様と一緒に門松づくりを行いながら、この浮羽中学校らしさを強く感じさせられました。浮羽中学校の子ども達のために、子どもが学校にいないや年代に関係なく一生懸命に活動してくださること、本校の大きな強みだと思います。

浮羽中学校通信第21・22号に、子ども達の合唱が浮羽中学校の良き伝統と書きました。子ども達のために一生懸命な保護者や地域の力、これも浮羽中学校の良き伝統だと思いました。

